

常陸大宮市台風19号災害関連住民意識調査単純集計

件数： 859 件

1-1 性別

No.	回答	件数	割合
1	男	489	56.9%
2	女	358	41.7%
	無回答	12	1.4%
合計		859	100.0%

回答者の57%が男性

1-2 年齢

No.	回答	件数	割合
1	20歳～29歳	31	3.6%
2	30歳～39歳	45	5.2%
3	40歳～49歳	75	8.7%
4	50歳～59歳	126	14.7%
5	60歳～69歳	298	34.7%
6	70歳～79歳	259	30.2%
7	80歳～89歳	15	1.7%
8	90歳～99歳	5	0.6%
	無回答	5	0.6%
合計		859	100.0%

全体の約8割が50歳～79歳

2 浸水想定区域に含まれるか知っているか

No.	回答	件数	割合
1	知っている	608	70.8%
2	知らない	239	27.8%
	無回答	12	1.4%
合計		859	100.0%

約7割が浸水区域に含まれていることを知っている

3 洪水・土砂災害ハザードマップを見たことがあるか

No.	回答	件数	割合
1	知っており、内容を理解している	302	35.2%
2	見たことがあるが、詳しくは知らない	406	47.3%
3	見たことがない	140	16.3%
	無回答	11	1.3%
合計		859	100.0%

約65%はハザードマップを理解していない

4-1 河川の水があふれた場合危険が及ぶと思うか

No.	回答	件数	割合
1	安全だと思っている	217	25.3%
2	危険だと思っている	592	68.9%
3	わからない	43	5.0%
	無回答	7	0.8%
合計		859	100.0%

約70%は河川の危険性の意識を保有

4-2 安全だと思う理由は(4-1で「安全だと思っている」のみ。複数回答可)

No.	回答	件数	割合
1	いままでに浸水等の被害にあったことがないから	100	46.1%
2	自宅の周辺に河川がないから	48	22.1%
3	自宅が高台に建っているから	152	70.0%
4	その他	7	3.2%

地形的な理由が9割を超えるが、過去の被害経験がないという理由も46%存在する

5-1 日常生活での水防災に関する情報入手(複数回答可)

No.	回答	件数	割合
1	テレビ	714	83.1%
2	インターネット	335	39.0%
3	ラジオ	225	26.2%
4	広報車	147	17.1%
5	防災行政無線	618	71.9%
6	区(伝達・配布など)	112	13.0%
7	電話	69	8.0%
8	自主防災組織(伝達)	60	7.0%
9	防災に関する出前講座	2	0.2%
10	防災教育	11	1.3%
11	情報収集手段はない	5	0.6%

テレビからの情報入手が最も多く8割を超え、防災行政無線も7割以上いる

5-2 避難場所や避難経路の確認(複数回答可)

No.	回答	件数	割合
1	ハザードマップ等を見て避難場所や避難経路を確認している	393	45.8%
2	実際に避難経路を歩いて確認している	70	8.1%
3	確認はしていない	381	44.4%

約45%は確認していない

5-3 家族に乳児, お年寄, 介護を必要とする方がいるか

No.	回答	件数	割合
1	いる	307	35.7%
	乳児	16	5.2%
	お年寄	189	61.6%
	要介護者	67	21.8%
2	いない	508	59.1%
	無回答	44	5.1%
合計		859	100.0%

「いる」に対する割合  
約36%に災害弱者がいてその内約6割がお年寄り

5-4 乳児, お年寄, 介護を必要とする方の避難を考えているか(5-3で「いる」のみ)

No.	回答	件数	割合
1	考えている	221	72.0%
2	考えていない	84	27.4%
	無回答	2	0.7%
合計		307	100.0%

災害弱者がいる場合7割以上がその方の避難を考えている

5-5 避難について考えているのはどのようなことか(5-4で「考えている」のみ。複数回答可)

No.	回答	件数	割合
1	避難のタイミング	167	75.6%
2	避難先	167	75.6%
3	避難手段	119	53.8%
4	支援者	32	14.5%
5	その他	9	4.1%

7割以上が避難のタイミングや避難先を考えている

5-6 避難する際の準備していることは(複数回答可)

No.	回答	件数	割合
1	情報の入手先の確認	349	40.6%
2	避難所などの確認	395	46.0%
3	避難経路の確認	203	23.6%
4	避難訓練などの参加	51	5.9%
5	マイタイムラインなどの作成	14	1.6%
6	家族との連絡手段の確認	366	42.6%
7	非常持ち出し品の準備	381	44.4%

避難経路の確認は約24%と少ない

6-1 浸水被害をうけたか

No.	回答	件数	割合
1	被害を受けた	275	32.0%
	床上	203	73.8%
	床下	53	19.3%
2	家屋に浸水被害はなかった	556	64.7%
	無回答	28	3.3%
	合計	859	100.0%

「被害を受けた」に対する割合  
約3割が被害を受け  
その内7割以上が  
床上浸水

6-2 市からの避難情報を確認できたか

No.	回答	件数	割合
1	確認できた	466	54.2%
2	確認できなかった	350	40.7%
	無回答	43	5.0%
	合計	859	100.0%

約4割が確認でき  
なかった

6-3 市からの避難情報の入手手段(6-2で「確認できた」のみ。複数回答可)

No.	回答	件数	割合
1	テレビ	135	29.0%
2	インターネット	81	17.4%
3	ラジオ	28	6.0%
4	広報車	95	20.4%
5	防災行政無線	374	80.3%
6	電話	33	7.1%
7	区(伝達)	38	8.2%
8	自主防災組織(伝達)	50	10.7%
9	避難のきっかけになる情報収集手段はない	6	1.3%

約8割は防災行政  
無線

6-4 実際に避難したか

No.	回答	件数	割合
1	家族全員が避難した	222	25.8%
2	家族の何人かは避難したが、全員ではない	44	5.1%
3	誰も避難しなかった	547	63.7%
	無回答	46	5.4%
	合計	859	100.0%

実際に避難したのは  
約3割

6-5 どこに避難したか(6-4で「避難した」のみ)

No.	回答	件数	割合
1	市が指定した避難所	118	44.4%
2	自主防災会や区が自主的に開設した避難所	27	10.2%
3	実家、親戚宅	73	27.4%
4	友人宅	10	3.8%
5	その他	37	13.9%
	無回答	1	0.4%
	合計	266	100.0%

4割以上が市が  
指定した避難所

6-6 避難した理由(6-4で「避難した」のみ)

No.	回答	件数	割合
1	市からの避難情報を確認したから	61	22.9%
2	雨が強くなるなど、身の危険を感じたから	140	52.6%
3	近所の人々が避難を開始したから	37	13.9%
4	危険を感じたわけではないが、老人や子供がいたから	11	4.1%
	無回答	17	6.4%
	合計	266	100.0%

5割以上が身の  
危険を感じたから

6-7 避難所の対応は(6-5で「市が指定した避難所」のみ)

No.	回答	件数	割合
1	満足	17	14.4%
2	やや満足	8	6.8%
3	普通	53	44.9%
4	やや不満	17	14.4%
5	不満	17	14.4%
	無回答	6	5.1%
合計		118	100.0%

約3割が不満を訴えている

6-8 避難しなかった理由は(6-4で「避難しなかった」のみ。複数回答)

No.	回答	件数	割合
1	自分の家は安全だと思ったから	421	77.0%
2	家が心配だったから	26	4.8%
3	気づいた時には避難が危険な状態になっていたから	38	6.9%
4	避難したかったが、避難場所が分らなかったから	1	0.2%
5	堤防の越水、決壊等の事態を想定していなかったから	63	11.5%
6	避難所に避難したくなかったから	12	2.2%
7	荷物を持つての避難が困難だから	9	1.6%
8	ペットがいるから	25	4.6%
9	その他	52	9.5%

8割近くが自分の家は安全と思った

6-9 台風の後、水害対策は必要だと感じたか

No.	回答	件数	割合
1	感じた	730	85.0%
2	感じなかった	88	10.2%
	無回答	41	4.8%
合計		859	100.0%

85%が台風の後水害対策の必要性を感じた

6-10 台風をきっかけとして、水害対策として新たに実施したこと、あるいは、実施しようと考えている対策はあるか

No.	回答	件数	割合
1	対策を実施した、あるいは考えている	277	32.2%
2	考えているができない	290	33.8%
3	特に何も考えていない	250	29.1%
	無回答	42	4.9%
合計		859	100.0%

対策を実施したあるいは考えているのは3割程度

6-11 対策とはどのようなものか

(6-10で「対策を実施したあるいは考えている」のみ。複数回答可)

No.	回答	件数	割合
1	安全な場所に引っ越す	42	15.2%
2	家を2階建てに改築する	2	0.7%
3	保険に加入する	66	23.8%
4	盛土をする	13	4.7%
5	避難袋を常備する	69	24.9%
6	家財を上階に移動する	71	25.6%
7	地域のハザードマップを確認する	92	33.2%
8	気象、洪水情報に注意するようにしている	206	74.4%
9	その他	45	16.2%

7割以上が気象、洪水情報に注意するようにしている

6-12 対策をしない理由は

(6-10で「考えているができない」あるいは「特に何も考えていない」。複数回答)

No.	回答	件数	割合
1	対策をする時間的余裕がない	31	5.7%
2	対策をする金銭的余裕がない	130	24.1%
3	自分のところには水害の危険はないと思う	200	37.0%
4	今回のような洪水がおこることはしばらくはないと思う	20	3.7%
5	被害より対策費用の方が大きいので、あえて対策をすることもない	17	3.1%
6	対策は、国や自治体などの単位で行うべきである	91	16.9%
7	何をしたらよいかわからない	76	14.1%
8	その他	24	4.4%

3割近くが時間的  
金銭的余裕がなく、  
4割近くが危険が  
ないと思っている

6-13 今後、災害時に知りたい情報は(複数回答可)

No.	回答	件数	割合
1	被害の発生状況	528	61.5%
2	水害や土砂災害に対して危険な場所の位置	410	47.7%
3	避難場所など	213	24.8%
4	避難勧告・避難指示が出されているかどうか	356	41.4%
5	通行止め等の道路状況	427	49.7%
6	近くの河川の上流域の雨量	535	62.3%
7	現在の降水量	227	26.4%
8	これから降ると予想される降水量	372	43.3%
9	周辺の雨量分布	208	24.2%
10	その他	35	4.1%

その時点及びそれ  
以降の状況について  
の情報を知りたいと  
思っている

6-14 今後、災害時に市に望むことは(複数回答可)

No.	回答	件数	割合
1	正確で迅速な情報提供、情報公開、連絡	673	78.3%
2	迅速な救助活動(国や周辺への迅速な救援依頼など)	290	33.8%
3	災害弱者(子供や高齢者、要介護者等)への適切な対応	382	44.5%
4	救援物資の備蓄と速やかで平等な配布	314	36.6%
5	安否確認をするための情報手段の確保	225	26.2%
6	避難所、仮設住宅、避難生活の充実	291	33.9%
7	迅速なライフライン、災害復旧	456	53.1%
8	支援制度、補助の充実(建物、生活など)	338	39.3%
9	その他	144	16.8%

8割近くが正確で  
迅速な情報提供、  
情報公開、連絡を  
望んでいる